

令和四年度 高知市立南海中学校 入学式 式辞

新入生の皆さん、保護者の皆様、本日はご入学おめでとうございます。本日、浦戸小学校から三名、長浜小学校から四十四名の新入生を迎えました。中学校の制服に身を包んだ気持ちはいかがですか。

皆さんの小学校生活の後半は、授業や友達との活動が制限されたり、学校行事が短縮・中止されたりして、とても残念な思いをした人も多かったと思います。そんな中でも、皆さんは精一杯、楽しく小学校生活を送ったことと思います。何度か浦戸小学校や長浜小学校を訪問しましたが、いつもにこにこ笑顔であいさつをしてくれたことが印象に残っています。

南海中学校でも、感染防止に最大限に気をつけながら、可能な限りいつも通りの中学校生活を送ることができるよう配慮していきたいと考えています。体育祭や文化発表会、部活動や生徒会活動など、中学校ならではの活動に大いに期待してください。こんな中だからこそ、友達や先生とのつながりや絆をいっそう大切にしてほしいと思います。

皆さんが入学した南海中学校は、開校以来、今年で七十六年目を迎えます。その歴史の中で、学校として大切にしていることが二つあります。

一つめは、今から六十七年前の五月、当時の宇高連絡船「紫雲丸」の遭難事故によって、修学旅行中の南海中学校生徒二十八名の尊い命が失われたことです。毎年、命日の五月十一日に追悼式を行い、命の尊さや生きることの大切さを学習しています。

二つめは、今から六十年ほど前に、この長浜の地から始まった教科書無償運動によって、現在、全国の小・中学校で教科書が無償で配付されていることです。日本全体を動かしたこの運動から、私たちは基本的人権の大切さや、今なお残っている差別をなくすための学習を行っています。

この二つのことは、南海中の歴史の中でも決して忘れてはならないし、これからも大切にしなければならないことで、南海中学校の生徒の学びの基盤となっていることです。今、実際に戦争をしている国があることを踏まえ、人権や平和を大切にしていきたいと考えています。

さて、新入生の皆さん、中学校生活で最も期待していることはどんなことですか。あるアンケート調査によると、そのベストスリーは、「部活動」「勉強」「友達づくり」なのだそうです。中学校生活は、新たな自分の歴史のスタートです。本当に、そのどれにも頑張ってもらいたいと思います。

その中で、南海中学校で最も期待してほしいこと、頑張ってもらいたいことは、何とんでも「授業」です。南海中学校が10年間続けている、認め合い、支え合い、学び合う学習活動、「学ぶ力」と「伝える力」を育てる学習活動、タブレットPCを使った授業、さらに英語、音楽では一人ひとりのデジタル教科書を活用し、皆さんの持つ力をもっともっと伸ばしていきたいと思っています。

このようなことから、私は新入生の皆さんとともに、この南海中学校を次のような中学校にしたいと考えています。

南海中学校は、授業を大切にします。すべての教科で、認めあい、支えあい、学びあう活動を行い、どの生徒の力も伸ばすことができる授業を行います。

南海中学校は、命・人権を大切にします。紫雲丸遭難事故や教科書無償運動を基盤として、自分と周りの人を大切にする生徒を育てます。

南海中学校は、なかま・生徒を大切にします。なかまとともに進める授業や学校行事を通じて、きてよかったと思える学校にします。

新入生の保護者の皆様、関係の皆様、改めましてお子様のご入学おめでとうございます。

中学校の三年間は、多感な思春期を迎え、心身ともに大きく成長するときでもあり、将来の夢の実現に向けての基礎となる貴重な三年間になります。子どもたちの成長のために、私ども職員一同、全力で教育活動を行ってまいりますので、私どもと力を合わせていただけますよう、ご協力をお願いいたします。お子様のことでご心配なことがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

保護者の皆様、南海中学校は今、地域に貢献し、地域に誇れる学校へと歩みだしています。これからの南海中学校に大いに期待してください。

本日、晴れて南海中学校の生徒となった四十七名の新入生の皆さんの健やかな成長を願い、式辞といたします。

令和四年四月七日 高知市立南海中学校 校長 廣瀬 啓二